

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010366

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	河川復旧事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	復旧箇所数		関係課	#N/A		
事業目標	9箇所		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	事業費(千円)	8,900	0	8,900	0	0
	財源内訳	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 8,900		8,900		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,650	0	8,650	0	0
	財源内訳	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 8,650		8,650		
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値	9箇所			
	第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	97%	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	0%	97%	97%	97%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	河川復旧事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	復旧箇所数		
【抱える課題やニーズは】	河川の背後地の被災拡大。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	河川背後地の被災防止。		① 復旧箇所数/復旧箇所数	目標年度	平成26年度
				目標値	9箇所
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	早期復旧による被災の拡大防止。		②	実績値	9箇所
		達成度		100.0%	
		目標年度		平成26年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	平成26年8月の大雨と12月の高潮に伴う河川復旧工事であり、予算補正を行い、随意契約により民間業者に工事を発注し道路、法面等の復旧を実施した。	目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町が管理している河川であるため、被災した箇所の復旧は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで背後地の被災の拡大防止が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	背後地の被災の拡大防止ができたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	被災箇所の復旧を実施したことにより、背後地の被災の拡大防止が図れたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成26年度事業終了。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止